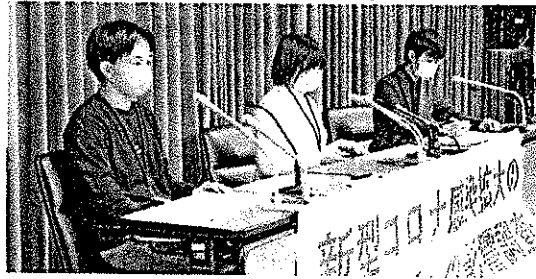


12/25
系規



新型コロナウイルスによる、学生生活への影響を報告するFREEのメンバーら
24日、文部科学省

8人に1人 退学検討

FREE会見 コロナ禍学生調査

大学生がつくる「高等教育無償化プロジェクトFREE」は24日、文部科学省で会見し、新型コロナウイルスの感染拡大が与える影響について学生から聞いた秋学期の実態調査結果を発表しました。コロナ禍が長期化

するもとで8人に1人が退学を検討していることがわかりました。

約2割の学生が「4月、5月に比べて経済状況が悪くなっている」と回答し、「バイトができず、後期の学費未納で退学になりそ

う」（私立大・4年生）など、危機的状況が起きています。我儘しているものは、外出45・2%、外食43・2%、サークル・課外活動45・8%などと答え、学業では約4割が「対面授業なし」と回答し、オンラ

インで困ったこととして「視力が悪くなった」「疲れる」と約4割を超える学生が訴えています。

健康についての質問では、「眠れないときがある」「孤独を感じる」など身体的、精神的にストレスや問題を抱えている学生が約4割を超えています。調査はインターネットで行い、142の大学や専門学校に通う学生926人から集めました。

した。

会見で、FREE総合コーディネーターの村田くるみさんは、春学期と比較してもコロナ禍での学生の実態は改善されていないと指摘。「精神的にも身体的にもストレスを抱えている学生が多い。政府に責任をもって大学等を支援してもらい、対面授業の再開や一律学費半減を求めている」と述べました。